

令和8年度滋賀県立高等学校入学者選抜にかかる総括について

令和8年度県立高等学校入学者選抜については、滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会答申(令和5年11月10日)を受け、新たな入試制度(新入試)として初めて実施をしたものである。そのため、新入試初年度の実施状況を振り返り、運用上の課題やその対応について整理を行う。

1. 全体総括

新入試の導入にあたっては、旧制度の課題への対応(受検期間の長期化による負担の軽減、モチベーションの維持、生徒の多様な観点からの評価、各高校の特色を生かした選抜など)を行うことを主眼に制度設計を行い、4つの柱(1. 選抜時期の一本化 2. 学力検査の全員受検 3. 学校独自型選抜の実施 4. Web出願システムの導入)により新しい入試制度を構築し、実施をした。また、実施にあたっては、制度の周知を図るため、生徒や保護者、学校関係者への説明を丁寧に行うことで、円滑な新入試の導入に努めたところ。

その結果、Web出願システムをはじめ、制度運用上大きなトラブルはなく、新入試を終えることができ、当初の目的は概ね達成できたものとする。

しかしながら、日程上の課題や出願状況の周知方法など課題もあったことから、次年度に向けては、それらの課題に適切に対応し、生徒、保護者、学校関係者が安心して入試を迎えることができるよう、さらに新入試の改善を図っていく。

2. 課題と今後の対応

新入試の改善にあたっては、私学を含め、中学校、高校の関係者による総括会議を開催するなど、課題や対応策について検討を行ったところであり、今後のさらなる改善につなげる。

【日程について】

意見・課題	対応・改善策
・出願締切日が県内私立高校の合格発表より前であったため、私立高校専願者は一旦県立高校に出願し、出願変更期間に多くの取り下げが行われた。取り下げの手続きの負担が発生するとともに、出願動向の把握が難しくなった。(中学校) ・出願期間について、県内私立高校の合格発表日以降に締切日を設定してほしい。	・出願締切日が県内私立高校の合格発表後となるよう調整を図る。
・中学校における授業時間の確保のため、検査日を少しでも遅らせてほしい。(中学校)	・検査日を昨年度より6日遅らせたことにより、授業時間を確保できる。
・卒業式や入試業務、考査等に必要の時間を確保できるようにしてほしい。(高校)	・検査日を昨年度より6日遅らせたことにより、高校の年度末業務に必要な時間を確保できる。
・次年度の準備を円滑に進めるために、二次募集の入学許可予定者発表日を可能な限り早い日程で設定してほしい。(高校、私学)	・終業式までにすべての入試業務が終わるように、二次募集の日程を調整する。

【出願状況の公表について】

意見・課題	対応・改善策
・全体倍率を明記するなど、受検者や保護者にとって一目でわかりやすい公表資料にしてほしい。	・全体倍率を記載するなど、公表レイアウトや表現方法を工夫し、改善を図る。

【その他】

意見
・自己推薦は、生徒が主体的に進路を考えることができる有意義な仕組みである。今後、自己推薦を実施する高校がさらに増えることを期待する。(中学校) ・Web出願システムの活用により、出願書類を持参する必要がなくなり、訪問に要していた時間を進路指導に充てることができた。(中学校) ・成績を電子データで受理できるようになり、データ入力に要する時間の削減につながった。(高校)

3. その他

- ・Web出願システムを使用した県立高校1年生を対象にアンケートを実施し、Web出願システムの利用状況や手続きのわかりにくさ、困った点等を把握し、今後の入学者選抜に係るマニュアル等の改善に役立てる。
- ・県内外の私立高等学校の入試動向について、今後も注視していく。